



広報

あまのこ

春の光を
浴びて

新型コロナウイルスの感染予防のため、テルメ柏陵健康温泉館が休館となりましたが、4月中旬には駐車場にある桜が満開となり、晴天のもと、あゆみこども園の園児たちが遊んでいました。

特集

令和2年度 町の主要施策

令和2年

5

No.711

令和2年度 町の主要施策



を共有できる

町づくりを目指して

令和2年度の第2回町議会臨時会が4月22日・23日の両日開かれました。この中で、松田町長のもとでの政策的事業に係る経費2億7,500万円を肉付けした令和2年度一般会計補正予算が審議され、原案どおり可決されました。補正後の予算総額は49億5,700万円となりました。

今月号では、その補正予算の内容と本年度当初予算を合わせた、今年度の主要事業について紹介します。



1 Section まちづくり

まちづくりの羅針盤となる第10次大江町総合計画および短期行動計画を、今年度に策定することで準備を進めています。これまで積み上げてきたまちづくりの更なる発展を目指すとともに、地方創生の柱である人を呼び込むための積極的な施策を推し進め、人口減少対策や産業の活性化対策などを引き続き推進していきます。

◎住宅団地・空き家利活用

定住対策の柱として進めている宅地造成事業については、あおぞら団地の分譲を開始しており、分譲促進と早期入居となるような施策を展開していきます。また、不動産事業者との連携による空き家の利活用を引き続き促進し、宅地造成事業と併せて定住対策を推進していきます。

◎地域活性化・婚活支援

集落活動の活性化への支援として、集落活性化交付金事業を継続します。また、昨年度までの未来へつなぐ元氣活動支援補助金をリニューアルし、ひとづくりやまちづくり活動をする団体への補助として、ときめくまちづくり支援事業補助金を新設します。婚活支援に関しては、結婚新生活支

まちづくり



道の駅再整備を検討 1,293万円

老朽化などの様々な課題解決に向けて、道の駅再整備基本計画を策定し、再整備検討を進めていきます。

主な事業

事業名	事業費
ふるさとまちづくり寄附促進事業	1億5,001万円
定住促進対策事業	2,644万円
集落活性化支援交付金	1,000万円

援事業やおおえ良縁結びたい事業などを継続するとともに、広域的な連携により出会いから結婚までの継続的な支援を図ります。

◎公共交通・道の駅・ふるさと納税

交通弱者などの交通手段として欠かすことのできない町営バスは車両の更新をおこないます。また、デマンドタクシーは区域を拡大し、名称を「乗り合いタクシー」に変更した上で利便性向上とPRに努め、運行してまいります。道の駅おおえについては、施設整備から22年が経過し、老朽化をはじめとする様々な課題が出てきています。昨年からの再整備に向けた検討をおこなっています。今年度は再整備基本計画を策定します。

ふるさとまちづくり寄附金については、魅力ある返礼品を充実し販売サイトを増やした結果、ここ数年は毎年寄附額が増えてきています。引き続き、返礼品提供事業者と協力し、魅力ある返礼品を取り揃えるとともに、町特産品の販路拡大に結び付け、地域経済の活性化に繋がるよう推進してまいります。

◎広域行政

広域行政については、西村山地域として新たに発足した山形連携中枢都市圏の取り組みを進め、効率的そして効果的な行政を推進してまいります。

2 Section 農業・林業

◎水田・果樹・やまがた地鶏

近年回復傾向にある米価を維持安定させていくには、米の需要に応じた生産が必要で、県から市町村に示された生産量の目安に基づき、高品質・高収益の米づくりと合わせ、主食用米以外の作物による水田活用（転作）を大江町地域農業再生協議会と一体となつて取り組んでいきます。また、環境に配慮して作られた安全・安心な米に対する消費者からの注目が高まっていることから減農薬・減化学肥料米の生産拡大に対する支援を継続してまいります。

本町は高品質なくだもの生産地であり、市場からの評価も高く消費者からも人気が高くなっています。生産者と一体になって特産化を進めているスモモについて、新たな品種のPRや生産拡大を図り、「大江のスモモ」のブランド化に努めます。また、リング品種更新支援事業を継続し、JAなどと連携を図りながら果樹の産地づくりによる農業所得のアップを目指します。

町の特産品としてブランド化を推進している「大江町産やまがた地鶏」については、既存施設の有効活用などによる生産拡大を図るとともに、食鳥処

理施設の早期再開、そして販路開拓に努め、関係者と連携しながら生産から販売まで安定化を目指します。

◎新規就農者支援・有害鳥獣被害対策

農業従事者の減少・高齢化が進む中で、Uターンなどによる親元就農を含め、新規就農者は本町農業の活性化と農業振興に大きな役割を果たしています。先進的な活動をしている大江町就農研修生受入協議会（OSINの会）や農業関係機関と連携しながら、新規就農者の受け入れや営農支援、生活支援を継続してまいります。新規就農者住宅については、これまで建設した住宅を含め、移住者用住宅などとして、より効果的な利用を図ってまいります。また、高齢農業者の営農継続、中核的農業者への農地集積、規模拡大や法人化への支援をおこないます。

農業振興や農村環境の保全に悪影響を及ぼしている耕作放棄地については、農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に農地利用状況調査をおこない、農地中間管理事業を積極的に活用した農地の集約および集積を進め、発生防止に努めていきます。また、昨年4月より農地取得の下限面積が10アールに引き下げられたことから、空き家活用と一体的な農用地の有効利用も推進してまいります。

地域共同による農用地、水路、農道

農業・林業

災害に強い農業基盤施設 3,073万円

農業者が安全・安心に農業を営むため、ため池などの農業基盤施設の耐震化を引き続き実施します。

主な事業

事業名	事業費
森林経営管理事業	1,279万円
農機具等整備補助事業	440万円
鳥獣被害対策事業	175万円



などの保全活動を支援する多面的機能
 支払や、集落協定により生産条件不利
 地域の農業生産活動および生活環境整
 備を支援する中山間地域等直接支払制
 度を継続して実施します。

地震や集中豪雨などによる被害を防
 止するため、県営農村地域防災減災事
 業による大江中部地区と大江三郷地区
 のため池や用水路の整備改修を、県・
 土地改良区などと一体となり継続して
 進めていきます。

有害鳥獣による農作物被害防止とし
 ては、大江町鳥獣被害防止対策協議会
 や鳥獣被害対策実施隊の活動を支援す
 るとともに、被害防止に向けた地域ぐ
 るみの取り組みを推進します。また、
 県や寒河江西村山管内の市町、猟友会
 などと広域的に連携しながら、特に近
 年増加が著しいイノシシによる被害防
 止対策の強化に取り組んでいきます。

◎林業

高品質な町産西山杉の生産・販売の
 拡大と森林資源の利活用による林業お
 よび関連産業の振興のため、大江町美
 しい森林づくり協議会、県、西川町、
 朝日町および林業関係組織などで構成
 する西山杉利活用推進コンソーシアム
 と連携して取り組んでいきます。

県代行林道開設工事として進めてい
 る林道沢口道海線については、引き続
 き県と一体となり事業を進めていきま

す。

また、森林所有者の森林経営管理責
 務を明確化するとともに、所有者自ら
 が適切な森林管理ができない場合は、
 市町村に委ねられることなどを内容と
 する森林経営管理法が昨年4月から施
 行されており、森林環境譲与税を活用
 し、森林経営に関する森林所有者への
 意向調査や森林資源量の調査などを実
 施し、森林整備を進めていきます。

3 Section 商工労働・観光

◎雇用・産業活性化

国の経済政策や経済動向に注視しつ
 つ、町内産業の活性化と雇用対策につ
 いて、商工会などの関係機関と力を合
 わせて進めていきます。

雇用に関して、町内企業では人手不
 足が生じています。新規学卒者の町内
 就労を促進し、雇用の安定化そして定
 住化に努めていきます。

工業に関しては、産業立地促進資金
 貸付金や企業立地促進条例による支援
 を継続していきます。

商業に関しては、起業や新商品開発
 などへの補助事業を継続していきます。
 また、商工会を中心として実施してい
 る特産品づくりとおおえブランドを推
 進する取り組みを継続して支援するほ

か、商工業の事業者において後継者育
 成や事業継承をする際に若い経営者が
 チャレンジできるような支援策を検討
 するとともに、これまでの資格技能取
 得への支援も継続します。物産販売の
 イベントを実施するなどして、町内で
 の購買力向上に向け関係する団体と連
 携を深めながら商工業の振興を図って
 いきます。

◎観光

本町では90年以上の歴史を誇る「水
 郷大江夏まつり大会」など年間を通し
 て数多くのイベントをおこなっていま
 す。町観光物産協会など観光に関わる
 団体と連携し、誘客の拡大を図り、「ひ
 と」と「もの」の交流を促進していき
 ます。文化的景観のまち歩きや農業体
 験、山里交流館での自然体験、健康温
 泉館そして柳川温泉での保養など、本
 町にある「ホンモノ」の観光資源の魅
 力を発信して誘客につなげていきます。

近年、観光に対するニーズは多岐に
 わたっており、広域的な観光の取り組
 みが必要不可欠になっています。西村
 山1市4町で組織する「山形どまんな
 か探訪プロジェクト」や「白鷹・朝日・
 大江広域観光推進協議会」、村山地域
 の7市7町で組織する「やまがた広域
 観光協議会」などの連携により広域
 観光の推進を図り、本町を選んで来
 もらうための誘客活動を展開してい

商工労働・観光

若者の起業を支援 199万円

若者の起業に係る補助金の補助率を高くするほか、借入
 に対しての利子補給事業をおこないます。

主な事業

事業名	事業費
企業立地促進事業	4,684万円
古寺遊歩道整備事業	2,300万円
新規学卒者等町内就労促進事業	50万円



4 Section 道路・住宅・水道

◎道路整備・住宅

日本百名山に数えられる朝日連峰登山の人気は高く、古寺登山口においては登山シーズンには多くの方々からお越しいただいています。朝日登山や町内観光の案内所として、そして、万が一の際の遭難救助の前線基地、自然学習の場、宿泊所、観光案内所としての役割を担う施設として、「朝日連峰古寺案内センター」を整備してきました。まもなく本格オープンとなりますが、安定した施設運営を目指し取り組んでいきます。

主要地方道大江西川線は、本町の道路交通網の要であり、その整備は最優先の課題と考えています。貫見く沢口間に計画されている6つの橋梁のうち、2橋が完成し供用が開始されています。今年度は4号橋（巻淵橋）の床版工、6号橋（阿ヨシ橋）の桁製作、舗装工事が予定されており、3号橋（琴ノ沢橋）から5号橋（杉な橋）の手前までの区間は、年内の部分開通を予定しています。

また、月布橋の橋梁整備事業については、幅員および耐震性を確保するた

め、架け替えがおこなわれることとなり、これまでに用地買収が完了し、今年度は、橋梁の下部工が予定されています。「大江・西川両町道路整備促進期成同盟会」を母体とし、貫見く沢口間の早期完成とともに、田ノ沢く大井沢トンネル間の早期着手に向け、国および県に対し更なる要望をおこなっていきます。

今後のまちづくりの重要な路線として位置付け整備を進めている町道藤田堂屋敷線は、今年度も引き続き、整備計画の終点となる町道諏訪堂中山線の交差点までの用地買収を進め、早期完成を目指します。

町民の暮らしにおける安全・安心を確保するため、橋梁をはじめとする道路構造物の老朽化対策が重要です。そのため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、適正な維持管理に努めます。今年度は、神通峡遊歩道内「石滝橋」の支承補修工事、顔好地内「久保橋」の防護柵補修工事などを実施していきます。また、身近な生活道路である町道の整備と維持管理に万全を期すとともに、冬期除排雪についても充実を図っていきます。その他、道路のり面・擁壁などの総点検をおこない、危険箇所等の把握に努め、併せて、町道貫見旧道線のり面の補修工事を実施します。

町営大花住宅A・B棟6戸が完成し、

町営住宅は40戸、特定公共賃貸住宅は28戸であわせて68戸となりました。若い世代の定住促進と高齢者などの居住の安定を図るため、今後も住宅整備について必要性を検討していきます。

また、住環境整備事業として、雪下ろし作業の軽減に資するための「雪から家をまもる事業」、町内産西山杉の需要を拡大するための「西山杉材利用促進事業」、住環境の整備と併せて町内経済の活性化を図ることを目的とし、町内事業者が施工する住宅の新築、増築費用を補助する「住宅建築奨励事業」を継続します。

◎生活排水処理・水道事業

令和元年度末の公共ますへの接続率は、公共下水道事業が71・3%、農業集落排水事業は81・7%となる見込みであり、今後も接続率の向上と適切な維持管理に努めていきます。

今年度は、事業の経営成績および財政状況を明確化し、持続可能な下水道事業、農業集落排水事業の経営を図るため、公営企業法適用に向けた基本方針を策定していきます。また、下水道施設を将来にわたって適切に点検・調査、修繕・改築していくため、浄化センターストックマネジメント計画の見直しをおこないます。

合併処理浄化槽設置事業については、公共水域の水質保全および公衆衛生の

道路・住宅など

安心・安全な道路づくり 1億7,690万円

町民の皆さんが安心して利用しやすい道路環境の整備を進めていきます。

主な事業

事業名	事業費
橋梁維持補修事業	5,621万円
合併浄化槽設置事業	1,271万円
住宅関連補助事業(リフォームほか)	693万円



向上の観点から、今後とも補助制度の優位性をPRし設置率の向上に努めていきます。

近年の少子高齢化などに伴う給水人口の減少や施設の老朽化など、水道事業を取り巻く環境が厳しい状況にあります。その中で、県および関係市町が構成する、村山圏域水道事業広域連携検討会が設置され、県が掲げる将来の理想像「人口減少等の課題に対応しながら、県民への安全で安心な水を安定的に届け続ける山形の水道」の実現に向け、水道事業の広域連携による経営

基盤の強化を様々な角度から検討していきます。今後も経営の健全化に努めていくとともに、安全・安心な水道水の供給、災害時の早急な対応に努めていきます。今年度には、荻野地内の水管橋添架管更新工事、楯山配水池の流量計更新工事、塩野平地内配水管布設替工事を実施していきます。

5 Section 福祉・子育て・健康・医療

◎高齢者福祉・障害者福祉・介護

本町の高齢化率は、平成31年4月時点で38.2%と年々増加傾向にあり、高齢者の福祉対策は重要な課題となっています。そのため、ひとり暮らし高齢者を重点に、民生児童委員による日

頃からの活動に加えて、高齢者等訪問、配食サービス、緊急通報体制整備事業などの見守り体制の強化、高齢者ひとり暮らしの方の間口除雪の在り方の検討をおこないながら、ぬくもり介護手当、雪下ろし等費用支給事業などの支援体制の充実、老人クラブ活動への支援を通して高齢者の生きがいづくりに努めていきます。

今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるように、地域全体で高齢者を支え合う「地域包括ケアシステム」を構築しながら、社会福祉協議会が実施している「みんなの茶の間の事業」など、高齢者を支えるシステムづくりを関係機関と連携して推進していきます。

障害者福祉については、今後の政策の指針となる「第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」を策定しながら、障害者の生活介護、就労支援をはじめとする障害福祉サービス事業および特別支援学校通学支援、手話奉仕員養成講座などの地域生活支援事業を継続して実施していきます。

介護保険事業は、これまで以上に介護給付費の増加が予想されるため、今後の安定した介護サービスの提供と健全な事業運営に向けて「第9期老人福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定します。また、高齢者が要介護状

態にならないように運動教室などの一般介護予防事業を継続し、認知症対策を重点課題として、地域包括支援センターにおける相談支援の充実を図りながら、初期集中支援事業、認知症サポートー養成講座、徘徊高齢者登録事業などを展開していきます。

◎子育て支援

子育て支援については、昨年度策定した「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、その基本理念である「子どもを生み育てやすい環境の整備」を推進していきます。

低年齢児保育、延長保育、一時預かりなどの多様な保育ニーズに対しては、民間事業者と連携しながら対応していきます。

昨年10月より実施された保育料無償化を継続し、町単独事業として、5歳児及び18歳未満の子どもがいる世帯の第3子以降の子どもを対象に副食費を助成する幼児給食費支援事業は、新たに3・4歳児についても補助を拡充して実施します。

これまでの出生児一人当たり3万円のすくすく出生祝金については、出生児一人につき6万円分の日本一くん商品券をおむつ代などとして支給する、誕生祝すくすくベビー券としてリニューアルします。

また、子育て支援センターに人気テ

福祉・健康づくり・医療

高齢者の生活支援の充実 946万円

配食サービスや雪下ろし支援、通院費支援の対象者を拡充するなど、在宅福祉支援の充実を図ります。

主な事業

事業名	事業費
障害者(児)福祉事業	2億2,251万円
健康増進事業	2,013万円
地域医療対策事業	58万円



レビキヤクターの遊具などを整備し、施設の充実を図ります。

※町の大きな課題となっている出生数減少の対策として、子育て支援を強力に推し進めていくため、4月1日から、健康福祉課内に子育て推進室を新設しました。

◎健康づくり・医療

乳幼児期から高齢期までの各世代に合わせた各種事業の実施に加え、生活改善推進協議会の活動支援を通して、栄養バランスのとれた健全な食生活への改善を図り、運動習慣の改善と合わせて健康寿命の延伸を目指していきます。

喫緊の課題である医療確保対策については、経済的負担の軽減策として高齢者等通院支援事業を継続するとともに、医師の確保に向けて多方面の協力を得ながら新たな方策を検討していきます。

母子保健については、これまでの健康診査を実施しながら、子育て世代包括支援センターを拠点に、妊娠期から子育て期に至るまでの様々なニーズに対して、総合的な相談支援を提供します。

各種予防接種については、子どもから高齢者までの定期接種、子どもインフルエンザなど任意接種への費用助成を継続し、風しん対策として、抗体保

有率が低い成年男子を対象に抗体検査と定期接種を引き続き実施します。

各種健康診査においては、疾病の早期発見・早期治療のために、特にがん検診の受診率向上を図りながら、筋力などが衰えた高齢者を把握し介護予防につなげるために、新たにフレイル健診を実施します。また、健康相談、生活習慣病予防教室などによる健康教育の推進に加えて、温泉の効能を利用した町民の健康増進を目的とする「さわやか健康づくり推進事業」を実施していきます。

福祉医療については、医療費の自己負担分を扶助する制度を活用し、重度心身障害（児）者、ひとり親家庭などの医療費の自己負担分を、これまでと同様に県と町が2分の1ずつ扶助します。また、子どもを産み育てやすい環境の整備と子どもたちの健やかな育成を支援するための子育て支援医療は、山形県医療給付制度とあわせ、令和元年度から「高校3年生の18歳まで」に拡大し、引き続き実施していきます。

国民健康保険は、平成30年度から制度改正により「県と市町村が共同で」国民健康保険を運営することとなり、県は財政運営の責任主体としての役割を担い、市町村は従前のおり資格管理、保険給付、保健事業のほか、保険料率の決定や賦課・徴収を引き続

き担っています。本町においては、原資となる国保税の収納確保に努めるとともに、被保険者資格適用の適正化、健康増進・生活習慣病予防などに関する啓発や各種保健事業を展開していきます。

75歳以上の高齢者を対象とした後期高齢者医療は、後期高齢者医療広域連合が財政運営をおこない、保険料の徴収や各種申請の受付などの窓口業務は、市町村が担うことになっていますが、被保険者の方が安心して医療を受けられるよう広域連合と連携した業務をおこなっていきます。

6 Section 教育振興

◎学校教育

現在、町の総合計画と歩調を合わせながら、新たな第3次大江町教育振興計画の策定に向けて取り組みを進めています。共生教育の理念を継承しつつ、子どもたちの未来を創る学校教育はもちろん、大江町のすべての方々が心身ともに健康で文化的な暮らしが営めるよう取り組みを進めていきます。

小中学校の教育に関しては、小学校では今年度から、中学校では次年度から新しい学習指導要領が全面实施され、「主体的・対話的で深い学び」の実現

子育て支援



幼児給食費無償化の拡充
629万円

幼児給食費の無償化を、これまでの5歳児および第3子までの対象から、3・4歳児まで拡充します。

主な事業

事業名	事業費
子育て支援事業	4,270万円
誕生日祝すくすくベビー券事業	192万円
子育て支援センター遊具等整備事業	175万円

を目指し、授業改善をさらに進めていきます。

本町では、中学校3年生全員に対して英語検定の受験料の補助や英検3級以上に課される面接試験のための講習会を実施してきました。今年度よりこの事業をさらに発展させ、スコア型英語4技能試験であるGTEC受験への支援へと事業内容を一新します。このGTEC受験料補助を、小学6年生と中学3年生全員に対しておこない、小中学校における児童生徒の7年間の外国語学習を継続的に支援していきます。

また、東京都の体験型英語学習施設「東京グローバルゲートウェイ」へ中学2年生全員を派遣し、2日間丸ごと英語に浸る学習を今年度も引き続き実施します。

学習環境の整備としては、学校施設を長く安全に使用していくための修繕工事計画である「学校施設長寿命化計画」の策定をおこないます。また小学校の新学習指導要領におけるプログラミング教育の実施、小中学校の授業におけるICT機器の活用などを見据え、今年度は小学校への高速通信ネットワーク環境整備を進めていきます。

中学校においては、昨年末のことも議会で提言のあった、水道水の給水管内部の調査と布設替えの基本設計を実施します。また、3年生を対象に放課

後を利用して学習の底上げや発展的な課題に取り組む活動を「地域未来塾」として開催します。

学校給食については、子育て支援として小学6年生および中学生全員を対象にした給食費の無償化を引き続き実施します。また小学校の自校炊飯、中学校の完全給食の実施に伴い、小学校においては、稲作体験に継続して取り組みます。中学校では、米づくり体験を通し、食と農ひいては命や生業に関心を持つ子ども育成を狙いとした取り組みを進めていきます。

本町唯一の高等学校である山形県立左沢高等学校については、魅力ある学校づくりの一助となるよう、生徒の進学就職に向けた英語検定や簿記検定などの資格取得に対する支援、国際理解推進事業の支援もおこない、多くの中学生から志望校として選んでもらえる環境づくりをおこなっていきます。

◎社会教育

新中央公民館のオープンを機に、おえ町民大学「ぶくらすカレッジ」として展開してきた生涯学習事業受講者の学習要求に応じながら、さらに充実した内容になるよう努力してまいります。

また、学習に役立つ資料・情報の提供、学習の機会を提供する場、町の情報を発信する場として、町立図書館の

充実と利用促進を図ってまいります。

学校外における青少年教育に関しては、放課後子ども教室やボランティアサークル夢懂布（ポケット）の活動内容をさらに充実したものになるように取り組んでいきます。

芸術文化を創造し、心の豊かさを育て、趣味を通じた交流の場としての「文化祭」や「音の文化祭」などを芸術文化団体などと連携しながら開催し、サークル活動などの育成支援に努めます。また、教育文化振興基金を活用し、町民みんなが楽しめる「ふれあい芸術コンサート」の開催など芸術文化に触れる機会を創出していきます。

◎歴史文化・体育振興

史跡左沢楯山城跡については、平成29年度から第1期整備として具体的な整備事業に取り組んでいます。令和2年度は、公園に設置しているトイレが老朽化していることから、建物の一部に西山杉を使用して新たにトイレを整備するとともに、管理用道路の整備、眺望を確保するための樹木の伐採を引き続き実施してまいります。

国選定重要文化的景観については、平成26年度に策定した整備計画に基づき、重要な構成要素の修繕などに取り組んできました。令和2年度も、引き続き構成要素である家屋などの補修を実施しながら、重要文化的景観の保護

教育 振 興



小学校の通信ネットワーク設備を整備 1,828万円

1人1台タブレットパソコン授業の実施に向けて、小学校の通信ネットワーク設備の充実を図ります。

主な事業

事業名	事業費
小中学校施設整備事業	1億3,052万円
左沢楯山城跡保存整備事業	4,090万円
小中学校給食費支援事業	1,328万円

7
Section
危機管理

に努めていきます。

体育振興では、人生百年の時代を想定しみんなが親しめる生涯スポーツを、体育協会や大江スポーツクラブ、O-STEPなどの様々なスポーツ団体と連携し推進します。また、体育協会主催事業の充実を図ります。

各種目において優秀選手の強化育成などに資するため、全国大会に出場し輝かしい成績をおさめるアスリート・団体に對し、人的物的両面から応援していきます。

また、安全で快適にスポーツが楽しめるよう体育施設の整備・修繕を順次おこなっていますが、今後も社会情勢の変化に機敏に對応し、効率的で質の高い施設運営をおこないます。

昨年も全国各地で大規模な災害に見舞われましたが、本町においても10月の令和元年東日本台風（台風第19号）では、大雨に伴う最上川の洪水により町道百目木原町線の一部が冠水、床上浸水1棟、床下浸水4棟の住宅被害が確認されました。町では災害対策本部を設置し、避難所の設置や避難情報の発令、避難者の受け入れ、消防団による警戒および水防活動などの対応にあ

たりました。今後も、引き続き関係機関と連携を計りながら、防災・減災対策を推進していきます。

正確な情報を迅速に伝達する手段として運用している防災行政無線については、万が一の際の緊急情報伝達に備えながら、火災予防、交通安全の啓発などにも有効に活用し、近年、たびたび浸水被害を受けている百目木地区などの対象世帯には、確実に情報伝達できるように対処していきます。

また、自分の命は自分で守る「自助」、自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る「共助」の取り組みを、区や自主防災会などを通じて支援していくとともに、令和元年度に改訂したハザードマップを活用し、日頃からの災害への備えや防災意識の向上を図ります。

地域の安全安心のため、仕事を持ちながら幅広く活動していただいている消防団員の団員数は年々減少傾向にあります。引き続き活動しやすい環境を整え、消防団ならびに地域と連携しながら団員の確保に努めます。

防犯および交通安全対策については、これまで以上に防犯協会や交通安全関係団体と連携協力し、一層の啓発活動に努めながら地域の安全安心のための活動を展開していきます。



「幸せを感じる町」にするために



新型コロナウイルス感染症対策情報

政府は5月4日、緊急事態宣言の期間を全都道府県を対象に5月31日までに延長することを決定しました。町民の皆さんには、これまでも多大なご協力をいただいておりますが、今後も冷静な行動と手洗い、咳エチケットなどの感染予防策の徹底をお願いします。
※5月8日時点の状況です。最新情報は町のホームページで確認できます。

令和2年度『特別定額給付金』について

政府は新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の要請などから、国民の家計への影響を踏まえ、「緊急経済対策」として全国一律に『特別定額給付金』を給付することとしました。

本町においても、5月12日に申請書を全世帯に送付し、申請書の受付を5月15日からおこないます。

- ◆**給付対象及び受給権者**／基準日（令和2年4月27日）において、大江町の住民基本台帳に記録されている方で、受給権者はその方の属する世帯主の方です。 ※申請書などは世帯主に届きます。
- ◆**申請方法等**／感染予防の観点から、①郵送申請方式、②オンライン申請方式（マイナンバーカードによりマイナポータルの画面上から申請）のいずれかとなります。
※役場へ来庁しての申請は極力ご遠慮いただきますが、記入の仕方がわからないなどお困りの方のために、役場3階に臨時の相談窓口を設けます。
- ◆**給付額**／世帯構成員一人につき10万円
- ◆**申請書の受付**／申請書類に同封されている「返信用封筒」に必要な書類（本人確認書類と金融機関口座確認書類）を添付した申請書を入れ、最寄りの郵便ポストに投函してください。
- ◆**給付開始日**／5月下旬から随時給付（予定）
※給付金に関して、町がショートメールを送信したり、職員がATMの操作をお願いすることなどは絶対ではありません。特殊詐欺などにご注意ください。

☎総務課庶務係(特別定額給付金事業推進班) ☎(62)2112

大江を応援商品券

新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けている町内の店舗などを支援するため、「大江を応援商品券」が町民1人あたり3千円配布されます。
※4月末までに世帯主あてに世帯員全員分の商品券引換券を送付しています。

- ◆**商品券配布時期**／5月17日(日)のみ指定公民館で引き換え予定。以降は役場政策推進課で引き換えます。※原則、世帯主の方が代表して引換券を持参いただき、まとめて引き換えをしてください。
- ◆**商品券使用期間**／5月18日～8月31日
- ◆**利用方法**／引換券に同封の取扱店一覧（町のホームページにも掲載）に記載の店舗でご利用ください。※たばこやプリペイドカードなど、利用が出来ない商品もあります。

☎政策推進課起業推進係 ☎(62)2139



令和2年度一般会計補正予算について、歳入歳出の総額にそれぞれ2900万円を追加し、補正後の予算総額は46億8200万円となりました。

補正予算

令和2年第1回大江町議会臨時会が、4月10日に開かれました。今臨時会では、冒頭に松田町長から新型コロナウイルス感染症対策についての行政報告がおこなわれました。その後、新型コロナウイルス感染症対策に関する令和2年度の一般会計補正予算のほか、地方税法などの改正に伴う大江町税条例などの条例改正の専決処分について審議され、原案どおり承認・可決されました。

議会

town council

第1回臨時会

社会福祉法人碧水会よりガーゼマスク贈呈



▲マスクを犬飼教育長に手渡した、阿部直美さん(写真中央)と渡辺隼介さん(写真左)



▲贈呈されたガーゼマスク

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、マスクが不足する中、社会福祉法人碧水会（佐藤雄幸理事長）より、町内の小学校に入学した1年生のために、4月6日に障害者通所事業所らふらんす大江で作成されたガーゼマスク66枚を贈呈していただきました。

清野メリヤスよりニットマスク贈呈



▲マスクを松田町長に手渡す清野メリヤスの清野欣也代表

ニット製品を製造している清野メリヤス（清野欣也代表）より、4月21日にニットマスク100枚を贈呈していただきました。

清野さんは「マスクが手に入りにくい状況であり、自分たちにできることがないかと考えました。妊婦の方に利用していただきたいです」と話していました。

町では現在母子健康手帳の交付を受けている方とこれから交付を受ける方に対し、贈呈いただいたマスクを配布する予定です。

地域経済活性化対策に関する要望書提出

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、イベントの延期や中止、外出の自粛により、町内事業所の企業活動にも大きな影響がでてきているとして、4月6日に大江町区長会から要望書の提出がありました。内容は、期間限定で使用できる商品券や食事券を町民に配布することを要望するもので、松田栄一区長会長は「大変になっている状況の方に直接手に届く効果的な対策が重要」と話され、松田町長は「町は小回りの利く対策ができるようにしたい」と答えました。

また、4月9日には大江町商工会が大江町商業振興会、大江町料理飲食業組合、大江町菓子組合、大江町酒販組合と連名での要望書を町に提出しました。内容は、町民全世帯に行きわたる地域振興のための商品券の発行を要望するものとなっています。木村圭一商工会長は「町民の日々の生活不安を払拭し、町内事業者の経営が今後とも持続的に営めるための大胆な経済振興策を講じていただきたい」と話されました。松田町長は「できるだけ早急に対策ができるよう対応をおこなっていききたい」と話しました。



▲要望書を松田町長に提出した松田区長会長(写真右から2番目)と鈴木俊雄副会長(写真左)、松田健一副会長(写真右)



▲要望書を松田町長に手渡す木村商工会長



4/8 大切なペットを守るために

今年度の狂犬病予防集合注射が、町内各地を巡回して実施されました。狂犬病という恐ろしい感染症を防ぐため、生後91日以上の子犬の飼い主には居住地での飼犬の登録とともに、年1回の予防注射を受けさせることが義務付けられています。

4月8日の注射会場の一つとなった保健センターにも、多くの方が愛犬を連れて接種を受けに来場しました。

新型コロナウイルス感染症予防のため、集合注射は4月8日のみとなりました。未受診の方は動物病院で個別に予防接種をお願いします。



4/4.6 お友だちと新しい生活

町内の保育園および幼稚園で4月4日、6日に入園式がおこなわれました。今年度の新入園児は、にじいろ保育園31名、大江幼稚園13名、あゆみこども園15名となっています。

大江幼稚園では新型コロナウイルス感染症の予防のため、新入園児とその保護者のみが出席しました。新入園児はお父さんお母さんと並んで座り、名前を呼ばれると恥ずかしそうに返事をしていました。大江光洋園長は「進級児も新しく入園してくるお友だちを楽しみにしています。毎日ワクワクしながら通ってください」と話しました。



4/14 鳥獣から町を守る

近年急増しているイノシシやクマなどの野生動物による農作物への食害などに対して、捕獲や被害防止策の普及啓発などをおこなう、町の鳥獣被害対策実施隊の委嘱状交付式が、4月14日におこなわれました。今年度は34人の方が委嘱され、代表として町猟友会会長の伊藤博さん（小漆川）、副会長の佐竹久さん（藤田）に松田町長から委嘱状が手渡されました。イノシシは今後も増加することが予想され、その被害に対し、鳥獣被害対策実施隊の活動の効果が期待されます。



4/8 交通事故ゼロを目指して

町交通安全対策協議会による今年度最初の交通安全街頭指導が4月8日に町内各所で実施されるとともに、町の交通安全祈願祭が左沢八幡神社で開かれました。祈願祭は新型コロナウイルス感染症の予防のため、各種団体の代表者のみが出席し、町民の皆さんが署名した「交通安全宣誓署名簿」を奉納し、松田町長ら関係者が玉串を捧げました。

昨年の町内交通事故の件数は前年よりも4件少ない14件でした。今後も交通安全への意識を高め「事故のない安全なまち」を目指しましょう。

4/26 平穩を祈って

4月26日、小漆川区の白山神社祈念祭がおこなわれました。例年は住民と子どもたちが、神輿をかついで区内などを練り歩きますが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大の予防のため、池田義孝区長ら区民約20名が出席し、神主を招いた祈念のみとなりました。

地区民の富樫文夫さんは「昭和40～50年代頃から、雪が降った時も含め、毎年お神輿がおこなわれてきましたが、中止となったのは初めてです」と話していました。

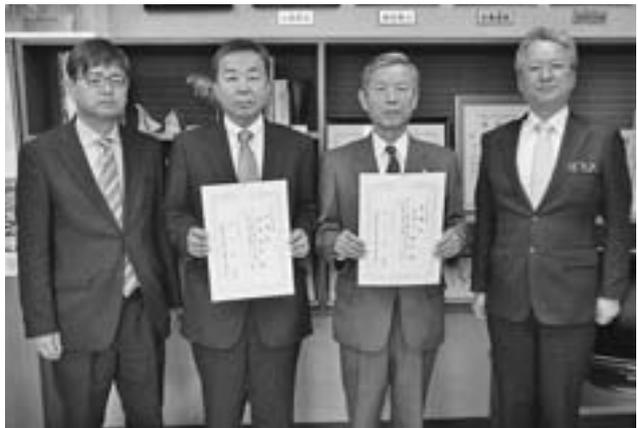


4/7 募集と育成のために協力

大江町自衛官募集相談員委嘱状交付式が、4月7日におこなわれました。自衛官募集相談員は、自衛官志願者への情報提供や入隊希望者の紹介、広報宣伝などの自衛官募集活動をおこなう方々です。

この度は、松田町長と齋藤自衛隊山形地方協力本部長との連名により、宇津江雅人さん（蛍水）、結城茂男さん（小新）の2名に委嘱されました。

委嘱されたお二人には今後2年間、相談員としての活動をおこなっていただきます。



令和元年度 消防関係表彰



▲平成31年度春季消防演習の様子

- ◎ 消防庁長官表彰
 - ◎ 永年勤続退団者／鈴木直喜、庄司隆弘、古口修、松田敏典、菊地茂、高野文弥、柏倉浩治、小野真人、菊地洋幸、鈴木勝巳、柏倉孝行、前田司
- ◎ 山形県知事表彰
 - ◎ 永年勤続退団者／庄司隆弘、古口修、松田敏典、小野真人、黒川嘉左エ門
 - ◎ 特別功労章／柏倉生一、大谷孝幸
 - ◎ 金条章／第4分団第2部
 - ◎ 功労章／白田和彦、高橋優一、柏倉修
 - ◎ 功績章／安孫子博司、林正行、佐藤寿薫、松田章
 - ◎ 精錬章／後藤純一郎、森道彦、渡辺重敏、佐藤勇輔、柏倉正志
- ◎ 日本消防協会会長表彰
 - ◎ 精績章／庄司信也
- ◎ 山形県消防協会会長表彰
 - ◎ 竿頭級／第1分団
 - ◎ 優良章／後藤恒一、箱崎正篤、海野達也、小野友和、村上裕也、鹿股

- ◎ 永年勤続30年／村山繁律
- ◎ 永年勤続25年／村山茂暢、柏倉智史
- ◎ 永年勤続20年／横山邦弘、庄司信也、村上勇、伊藤幸紀、森道彦、佐藤寿薫、柏倉正志、清野能史、高橋実、松田誠、鹿股桂一、横山智康、大泉久俊
- ◎ 永年勤続15年／小野友和、五十嵐克也、大沼利勝、北本一考、鈴木俊一、鈴木茂昭、鈴木吉雄、鈴木貴之、堀昌達、菊地智、菊地直人、鈴木巧安藤均、
- ◎ 山形県消防協会西村山支部長表彰
 - ◎ 竿頭級／第2分団第6部
 - ◎ 優良団員／清水悠、鈴木憲、清野光、阿部裕和、伊藤達紘、堀満弥、菊地育心、菊地直人、黒川源太、坂坂英樹、橋本清宣、阿部達也、東海林俊広
- ◎ 大江町長表彰
 - ◎ 優良団員／庄司光幸、伊藤哲朗、青柳達也、佐藤雄大、松田哲郎、佐竹拓也、阿部慎也、明石晋、今野清彦、渡辺信、鈴木高成、佐竹宗一郎、林智博、今野龍、渡辺一樹、伊藤陽介
- ◎ 大江町長感謝状
 - ◎ 一般協力者／須藤利弘
 - ◎ 内助の功／森浩子
- ◎ 大江町消防団長表彰
 - ◎ 優良機関／第2分団第3部、第4分団第1部

(敬称略)

皆さんの声にお答えします

Q 小見地区にある町道藤田堂屋敷線と町道諏訪堂中山線の交差点の見通しが悪く、特に夜間は「止まれ」の停止線で止まらない車があり危険を感じます。注意喚起のため交差点の標識の更新、あるいは交差点の路面の色を変えるなどの対応をさせていただきたいと思ひます。

A ご指摘のありました交差点の状況を確認し、交差点表示の標識が劣化により見えにくくなっていましたため、新しいものに交換いたしました。また、停止線や停止標識については警察署での対応となるため、寒河江警察署にハガキの内容についてお伝えしました。町道藤田堂屋敷線は今後改良工事を予定しており、その際に警察署の意見もふまえ、路面標示方法について検討していきます。
(担当・建設水道課)

※本コーナーでは「広聴ハガキ」にていただいたご意見・ご質問の中から抜粋し、町としての回答を掲載します。本コーナーで掲載したご意見については、紙面での回答をもって直接の回答に代えさせていただきますので、ご了承ください。

地域おこし協力隊通信

No.62



はじめまして。4月から地域おこし協力隊として着任した太田さや香です。まちなか交流館 AREAを活動拠点として、町のにぎわいづくりに携わっていきたくと考えています。

私は大江町の雰囲気と果物が大好きです。大江町のことは農業を通して知りましたが、他にもたくさん魅力が詰まっている町だと思っています。お勧めの場所や食べ物、イベントなど素敵な情報があればぜひ教えてください。これから町の皆さんとたくさんお話をし、大江町の魅力を発信するお手伝いをしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊 太田さや香



↑ 楯山公園から見た町の風景
この「日本一」の眺めを多くの方に
見ていただきたいです！

● 短歌 ●

御館山大江高基最後の地自刃悲しき無念の墓石

柳川 次郎

この春の桜を愛でる脳裏にはコロナのウイルスこびりつきたり

佐竹磨砂湖

これからの世界を変える感染症仕事学校買物葬儀

山家 重之

転ぶなよ温かき言葉我にかけ孫と同じの名の若き医師

菊地つねよ

木の枝で作る奏者の晴姿流るるメロデー新緑の庭

佐竹 與鼓

人力車に友と相乗り湯の街を巡り遊びし遠き憶ひ出

齋藤 徳治

● 俳句 ●

法螺貝の吹く音爽やか稲荷祭

鴨田富士夫

山若葉大城館の夢の跡

柳川 次郎

子雀や今年も我が家を宿として

齋藤 徳治

幼児が重ねし積木風光る

山家 重之

二才児へ手作りバック山笑ふ

安藤 桂花

コロナ来る自肅自肅に黄砂来る

熊谷 勉

デイに行く妻に一鳴き揚雲雀

舟山 三男

おぼろ夜の母に連れられ貫ひ風呂

伊藤 啓泉

吟遊浪漫

ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

2020年工業統計調査を実施します

2020年工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事務所を対象に、令和2年6月1日時点で実施します。この調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。調査の結果は中小企業

施策や地域振興など、国および地域行政施策のための基礎資料として活用されます。

調査票に記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することは絶対にありません。調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願います。

※同時に実施している経済構造実態調査の対象事業所・企業などにおいては、両調査へのご回答をお願いします。

☎総務課情報システム係

(62) 2187

空家除却支援補助金

町内に所在する概ね3年以上居住されていない空家の除去をおこなう所有者などを対象に、予算の範囲内で補助金を交付します。

◆**補助対象工事**／補助対象者が解体撤去業者に発注する空家の除去工事で、原則として当該空家の所在する土地を更地にする工事

◆**補助対象経費**／補助対象工事に要する費用

◆**補助金額**／補助対象経費の2分の1(上限50万円、補助対象者1人につき1回が限度)

※補助要件など、詳しくはお問い合わせください。

☎総務課危機管理係 (62) 2187

新型コロナウイルス感染防止のため、町税などの納付は口座振替で

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためには人との接触を抑えることが有効とされています。町税などの納付に口座振替を利用すると、指定した口座から納期限の日に自動的に引き落とされるため、納め忘れがなく便利で確実です。

◆**申込み**／町内金融機関窓口にて備え付けの「口座振替依頼書」に、通帳のお届け印を押印し、金融機関に提出してください。

☎税務町民課町民税係 (62) 2119

がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具の購入費用を助成します

がん患者の皆さんの就労や社会参加を応援し、療養生活の質がよりよいものになるように、ウィッグ(かつら)・乳房補整具を購入した際に費用の一部を助成します。

◆**対象者**／次の項目すべてに該当する方 ①大江町内に住所のある方、②がんと診断され、がんの治療を行っている方、③がんの治療に伴う脱毛のため、就労や社会参加等に支障がある又は支障が出る恐れがあり、ウィッグが必要となっている方、④平成31年度以前に大江町がん患者医療用ウィッグの購入助成を受けていない方、⑤他の法令などに基づく助成などを受けていない方

◆**対象経費**／平成31年4月1日から令和3年3月31日まで医療用ウィッグを購入した経費

◆**助成額**／①ウィッグは2万円又はウィッグ購入経費の2分の1の額のいずれか低い額、②乳房補整具は1万円又は乳房補整具購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

※助成対象者1人につき、1回限り
◆**申請時必要なもの**／①脱毛の副作用があるがん治療を受けていること

を証明する書類(お薬手帳、診療明細書、治療方針計画書、わたしのカルテ、がん診療パスなど)、②医療用ウィッグ・乳房補整具を購入したことを証明する書類(領収書など)、

③申請者名義の振込先の通帳の写し、④朱肉用印鑑、⑤本人を確認する書類(運転免許証、健康保険証など)、

⑥町が必要と認める書類
※代理申請や郵便による申請を希望される場合もご連絡ください。

☎健康福祉課保健衛生係 (62) 2114

◆お詫びと訂正：4月号の記事欄外ページ数記載箇所に記載の広報おえの号数に誤りがありました。全て令和2年4月号になります。お詫びして訂正いたします。

元号が令和となり1年が過ぎました。時が過ぎるのは早いなと感じます。

新型コロナウイルスの影響で日常生活は大きく変化していますが、自分ですることをおこなって、この緊急事態を乗り切りたい。

今野清彦

編集

後記

MADE メイドイン IN おおえ

匠の技から最先端技術まで——モノづくりを担う町内企業と、
そこで働く若い力をご紹介します。



VOL.4 有限会社 金山鉄工所

- ◆住所 大江町大字藤田747
- ◆代表者名 代表取締役 金山津吉
- ◆沿革 昭和24年 創業
平成3年 設立
平成5年 藤田工業団地へ移転
- ◆従業員数 8名
- ◆主な業務 鋼構造物事業、金属加工、上下水道工事など

創業から70年以上の実績を持つ有限会社金山鉄工所は、金属加工や工場用の機械設備製造、住宅用水道設備など幅広い分野の仕事を、地元企業を中心に受注しています。

入社9年目の仁藤駿翼さんは、「上司や先輩はみなさんやさしく教えてくれます」と話し、また「自分でも溶接などの技術が上がっていると、最近は感じています」と、製造した完成品を見せてくれました。

社長の金山さんは、「従業員のチームワークと、まねのできない確かな技術が当社の強み」、そして「毎年少しずつでも技術向上をし、やりがいのある会社を目指しています」と柔和な表情で語ってくれました。



▲仁藤さんが製造した工場用設備



▲代表取締役の金山津吉さん(右)と、入社9年目の仁藤駿翼さん(左)

戸籍のまど

3月21日～4月20日大江町受付分

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	阿部 きぬ	(100)
深沢	鈴木 しげ	(89)
藤田	菊地長左衛門	(100)
木の沢	渡邊 勝義	(90)
榎山	鈴木のぶゑ	(93)
藤田	大沼きよみ	(92)
9区	庄司 清子	(97)
木の沢	高橋 すさ	(96)
9区	菊地はつえ	(94)
月布	荒木 久子	(99)
7区	柏倉 邦夫	(92)
下北山	奥山 實	(71)
月布	大泉 啓一	(77)
2区	梅津 正晴	(92)



人口と世帯(前月比)

町の人口	7,939人(-12)
男	3,954人(-9)
女	3,985人(-3)
世帯数	2,887戸(+4)

令和2年5月1日現在

※掲載を希望しない場合は、
届け出の際にお申し出ください。